

第3章 日高市の環境課題

日高市の環境を取り巻く現況調査や市民・事業者アンケートなどから明らかになった本市の環境課題を以下に示します。

1. 自然環境に関わる課題

日高市は、高麗川などの清流や、日和田山、巾着田をはじめ、緑豊かな自然に恵まれています。また、これらの豊かな自然は、カワセミをはじめ様々な生き物の生息・生育環境となっています。このような貴重な自然を次世代に残していくために、自然と人のかかわりについて意識するとともに、恵み豊かな自然や生態系を守り育てていく必要があります。



秋の巾着田

2. 生活環境に関わる課題

大気は、概ね良好な状況にあります。排気ガスや排煙による大気汚染に不満を持っている住民が見られます。主な河川における水質は、増水期において概ね良好な状況にあります。濁水期において一部水質が悪化する河川が見られます。騒音については、道路交通騒音が測定されている地点において環境基準を達成しているものの、幹線道路や圏央道周辺の地域を中心に騒音が気にかかっている住民がいるとともに、日常生活によって生じる騒音も含めた苦情も多い状況となっています。

生活活動を通じて起きる公害は、わたしたちの一番身近な問題として捉え、発生抑制のための対策や、規制・基準の遵守などについて推進していくことが必要です。



高萩交差点

3. 文化環境に関わる課題

日高市は、市域の西部の連なる丘陵地、山林の広がる緑豊かな景観、丘陵地の裾を蛇行する高麗川、豊かな緑を背景にもつ巾着田は日高市の特色ある景観を織りなしています。また、巾着田曼珠沙華公園、高麗家住宅、高麗神社、聖天院など、歴史的、文化的にも優れており、かつ貴重な景観資源が点在します。

また、圏央道の整備によりまちが活性化していくことが期待される一方、乱開発等

を防止し、秩序あるまち、市民の快適な生活を損なわないまちとして発展していくことが求められています。

日高市の緑あふれる豊かな自然や、歴史ある文化的遺産は、市民の心と生活に潤いと様々な恩恵をもたらしており、豊かな自然、すぐれた景観、歴史・文化を保全しつつ、これらと調和した快適なまちづくりを行っていく必要があります。



獅子舞（横手神社）

4. 地球環境に関わる課題

日高市における家庭系ごみは、分別により収集し、収集したごみは、可燃ごみを含め、リサイクル業者や再資源化工場において再利用・再資源化を図っています。また、事業系ごみは、事業者の責任において委託等の処理を行っています。

限りある資源の利用を最小限にとどめるため、まずはごみを出さず、資源化を行うことが重要です。

また、我が国での温室効果ガスの総排出量が増加し、さらに着実な目標の達成に向けて対策の強化が求められている現在、地球温暖化対策は新たな局面を迎えています。鳩山政権が平成 21 年の国連気候変動サミットにおいて、我が国が目指すべき温室効果ガス削減目標（1990 年比 25%削減）を発言するなど、低炭素社会への転換に向けた取り組みが求められています。

このような環境問題の深刻化は、今日の豊かで便利な生活基盤を実現するために、大量消費、大量生産、大量廃棄型の経済活動を行った結果によるものです。このことから、わたしたちの生活そのもの、そして

事業活動が、環境に大きな負担をかけていることを認識する必要があります。

豊かな環境を次の世代へ引き継ぐためにも、日常生活や事業活動における価値観や生活そのものを見直し、低炭素社会を構築していく必要があります。

